

門司松ヶ江病院 機能評価結果

（財）日本医療機能評価機構 審査結果抜粋

当院は平成19年11月19日付で、（財）日本医療機能評価機構から病院機能評価事業の更新認定を受けました。
今回は（財）日本医療機能評価機構による当院の審査結果講評を抜粋し、どのような評価を受けたかをお伝えします。

貴院は地域初の精神科病院として創設され、精神科医療に求められる種々の機能を着実に整備し、確実にその役割を担って来られた。日々の診療活動は「自由と尊厳と生産性の回復」を治療理念として、救急から入院時の処遇、退院支援まで適切に対応されている。このたび病院機能評価の初回認定以来5年が経過し、認定更新の審査が行われる運びとなった。この間、認知症デイケアを開設され、増改築の際、国際基準の栄養施設を整備するなど、サービステ制の一層の充実を図って来られた。初回の認定以降も地域ニーズに応える取り組みが継続的になされたものと評価できる。今後もノーマライゼーションをキーワードに「精神障害者とその家族が明るく生活できるように援助する病院」として貢献されることを期待したい。

されており、適切である。地域ニーズを的確に把握され、クリニック、認知症病棟、精神科急性期治療病棟、精神療養病棟などを設置し、地域精神医療の中核的役割を果たされている。目標管理制度の導入により、医療の質や職員の主体性の向上に院長および幹部が強いリーダーシップを発揮している。業務改善の取り組みや、患者・家族からの要望に基づくサービス向上への取り組みが継続的に行われており、医療サービスの改善活動は適切と評価できる。

立している。病院感染管理については、組織的に活動する仕組みが確立している。院内感染防止マニュアルに沿った感染予防策が適切に実施され、職員に対しても継続的な教育が行われている。また、職業感染予防に対してHBVワクチンの接種を積極的に実施している。

1. 病院組織の運営と地域における役割

病院の理念および基本方針は明文化され、病院の内外への浸透に努力

2. 患者の権利と安全確保の体制

患者の権利や職業倫理は明確に定められ、倫理委員会を中心に職員への周知が図られている。倫理委員会で倫理的に問題となりやすい事柄について検討し、丁寧に対応している。診療記録の開示に関しては、方針と手順が明確にされ、実際の開示請求に対して適切に対応している。患者の安全確保の体制は明確になっている。医療事故発生時の対応体制は確

3. 療養環境と患者サービス

受付対応は笑顔で礼儀正しく行われている。接遇教育も全職員対象に行われている。掲示物はわかりやすく、病院の案内・掲示は適切である。外来待ち時間については待つことの苦痛軽減を図るため、患者個別の対応を心がけている。患者・家族の意見については、満足度調査が毎年実施され適切に答えている。利便性とバリアフリーは、工夫されたスロープの設置など高齢者や障害者に配慮したものとなっている。プライバシーの確保については、病室における個人エリアの確保など適切になされている。



4. 医療提供の組織と運営

診療部門は基本方針や目標が明確であり、それらに基づいて他職種と協調しながら精神科チーム医療を実践している。医局会議が定期的に開催され、課題の協議、情報の共有等に努力され、管理・責任体制も明確である。役割に見合った医師が配置されている。院外の診療機能との連携も良好である。看護部門は愛・誠・知の理念のもと明確な目標管理が実施されている。看護部門の組織は年2回の職員面接を通じて、適切な人員配置に努めている。また、看護職員の勤務評定に基づいて階層別研修を実施しており適切である。薬剤部門は体制が確立し、薬剤の保管・管理、調剤、医薬品・副作用情報提供などの幅広い業務を円滑に実施している。栄養部門の体制は確立している。リハビリテーションは、個々の患者の病態、経過に基づくニーズが組織的に検討され、多彩な活動を積極的に実施し成果をあげている。外来は適切に運営されている。

5. 医療の質と安全のためのケアプロセス

病棟における医師の役割と責任体制は明確であり、臨床における倫理的問題についても適切に対応している。入院診療の計画的対応は、クリニカル・パスを導入し、多職種によ

る精神科チーム医療が実践されている。患者に関する情報が的確に収集され、診療に生かされている。アセスメントと計画は、総合カンファレンスで多職種により検討されているが、患者や家族の意見を一層反映させるような記録に努められたい。リハビリテーションは、早期退院、生活機能向上を目標として精力的に作業療法を実施している。また、リハビリテーションの必要性について組織的な評価がなされ、多職種による情報交換、活動実施状況についての検討が記録に残されている。緊急時の対応は手順が明確に定められ、訓練も実施され、各病棟には非常用カーブが配備されている。診療の記録は各項目の所見、治療方針・計画、経過記録、処方、指示等についての記載状況は良好である。

6. 病院運営管理の合理性

就業規則等の人事規則は全職員に周知されており、人事管理体制は良好に整備されている。人事考課は全職員に行われ、結果が賞与・昇給等に活用されている。職場環境は保養所の整備など福利厚生活動が積極的に行われている。財務・経営管理は、資金管理や経営管理等が適切に行われている。施設・設備管理は適切である。とくに調理室の衛生管理はハード・ソフト両面において高く評価で

きる。院内の危機管理は独自の防災マニュアルが整備され、実践訓練も頻回に行われている。大規模災害発生時の対応手順は地域の防災計画に準拠しており、ライフラインの確保にも配慮されている。

7. 精神科に特有な病院機能

精神科救急は地域の精神科救急輪番病院として積極的に対応し実績も認められる。また、当番日以外でも貴院の通院患者の急変時には責任を持って対応している。入院時の評価と説明は、精神保健指定医によって実施されている。認知症病棟等の閉鎖病棟入院患者の同意能力は的確に評価され、任意入院同意書および任意入院患者の閉鎖的処遇についての同意書の控えも診療録に貼付されている。医療保護入院については、精神保健福祉法に基づく適正な入院管理状況が認められる。措置入院患者は開放病棟に入院しているが、厳重な管理システムのもとで処遇され、県の承認が得られている。入院患者の処遇については、昭和36年開院以来、開放処遇を原則とし閉鎖病棟は設置されていない。また、身体拘束も行わない方針で実践されている。患者の個性にあわせて外出カードが手渡されている。病院敷地外に出するには看視所にカードを提示する仕組みとなっているなど、開放病

棟での閉鎖的処遇のための工夫がなされている。精神科リハビリテーションは、病棟に作業療法士が配置されており、看護とともに生活指導・作業療法が実施されている。病院としてデイケア・訪問看護・福祉ホーム・グループホームなど地域生活への支援体制が適切に整えられている。精神科における事務管理は全般的に適切に行われている。預り金管理も適切に行われている。精神医療審査会、実地指導への手続きなども適切に行われている。精神障害者の身体合併症治療は、地域の医療機関との良好な連携のもと迅速かつ的確に対応している。

門司松ヶ江病院 治療の理念

精神障害という理解されがたい病気で悩んでいる人達との心のふれあいを通じて、その純粋な心、ひたむきな努力を受けとめ、「自由と尊厳と生産性の回復」に、全職員あげて精いっぱい援助をし、病院の門を社会に大きく開いて奉仕いたします。